

1982年 あたりまえの生活を考える会発足



81年の国際障害者年記念行事の一環として、アメリカのバークレーで始まったCIL設立の動きに関わったエド・ロング氏を世田谷に招いて講演会を行ったのをきっかけに、世田谷地区のIL運動をつくろうとした組織。

1987年 在宅ケア研究会発足



当時の世田谷ボランティア協会と、介助を必要とする当事者数人が中心となって、老人問題を中心に動いていたグループと一緒に、その歴史や生活を取材して資料にまとめ、将来的な介護・介助のあり方をつくりだそうとした組織。

1987年 合同介助者集めの会



24時間介助者を入れているメンバー同士が、一緒に介助者を集め、一定の規約を作り、お互いの生活を支え合おうとした組織

日本の社会の運動の流れや、障害当事者運動のうねりなどがあいまって、世田谷の歴史ができていったことはいなめないと思います。ただ、光明養護学校などの地域的特性が、自分たちの住んでいる街をより住みやすい街にしていこうという上記のような動きにつながっていったであろうと思われます。



ハンズ世田谷年表

HANDS 世田谷の動き

世界・全国の動き



1990 年

4月	「hands for handicapped in setagaya」通称 HANDS 世田谷の設立	
6月	「CP介護券措置 どうして! 討論会」	福祉関係 8 法の改正 (在宅福祉サービスの法定化, 身体障害者福祉関係事務の市町村への一元化等)
7月	HANDS 世田谷第 1 回説明会	米国「障害をもつアメリカ人法」(ADA) 公布
10月	家事援助サービス都社会福祉振興財団助成決定	
12月	第 1 回利用者会	



1991 年

4月	第 1 回総会開催	
6月		運輸省「鉄道駅におけるエスカレーターの整備指針」を策定
7月	連続講座第 2 回「障害者と自立生活」(講師: 樋口恵子氏) 連続講座第 3 回「国際障害者の 10 年」(講師: 石毛鏡子氏)	
11月	JIL (全国自立生活センター協議会) 加盟	全国自立生活センター協議会(JIL) 発足



1992 年

1月	第 1 期自立生活プログラムスタート(以降、毎年開催) 第 1 回会員交流会開催(以降、毎年開催)	
2月	連続講座第 4 回「わたし・学校・社会～昭和一桁生まれの障害者～」(講師: 二日市安氏)	
5月	世田谷区代田に新事務所を構える	